

DESPERADOS

デスペラード

ゴールドラッシュという時代は金鉱掘りにとって恐ろしく厳しいものでした。彼らは毎日隠れた金脈を求めて掘り続け、ついでに銀や銅も出てこないかとさえ夢想していました。無論、競争相手の山師もいます。それで足りないというのなら、無法者だつてやってきます。金泥棒や鉱山荒らしは次々と現れます。中にはそれほどでない者もいるかもしれませんが、連中と戦う準備はいつでも必要です。ならば信頼できるパートナーと組むのが一番でしょう。

「デスペラード」では、2人ずつペアを組んで、金や銀や銅の鉱山を探査・発掘します。協力してライバルや彼らの雇う厄介な無法者と対決します。やっと手にした戦利品を守る最後の希望がパートナーだった、ということも珍しくありません。発掘にあたり、さあ鉱山を掘り、ライバルの先を行きましょう。くれぐれも奴らの腐った無法者には気をつけて！

プレイ人数：2～4人
(4人で行うペア戦を推奨)
プレイ時間：30分
対象年齢：8歳以上



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 2-17-1 TM ビル 2F
http://newgamesorder.com/

プレイ人数：2～4人 (4人推奨) / 対象年齢：8歳以上 / プレイ時間：30分

内容物

- カード 60枚
- ・鉱山カード金銀銅各3枚
- ・鉱物カード金銀銅各9枚
- ・ダブル鉱物カード金銀銅各1枚
- ・閉山カード9枚
- ・無法者カード12枚 (1から12までの値が書かれています)

「デスペラード」は4人が2対2に分かれて遊ぶペア戦ゲームとして作られています。2人や3人しかいない場合や、あるいは4人でもペア戦として遊びたくない場合は、ルール末尾の「2～4人用ルール」をご参照ください。

ペア戦ゲーム

ペア戦ゲームでは、向かいに座っているプレイヤー同士でペアを組み、共同で勝利を目指します。ふたりで金銀銅山を開き、ここに対応する鉱物カードを出していきます。ただしこの鉱山から点数を得られるのは、ラウンド終了までに閉山した場合だけです。無法者が何度となく鉱山を取り囲んでくるため、鉱山の所有権はラウンドの中で行ったり来たりするでしょう。ラウンドを繰り返して、先にごくこのラウンドの終了時点で一定の合計点に達したペアの勝利となります。

ゲーム開始

髭が最も伸びているプレイヤーが最初のラウンドの親になります。親は60枚全てのカードをよく切って、プレイヤーに6枚ずつ伏せて配ります。配られたカードはプレイヤーの手札になります。手札は他のプレイヤーには見られないようにしてください。残ったカードは伏せて積み置き、山札とします。親の左隣のプレイヤーが、このラウンドの最初の手番を行います。以下、時計回りに手番を行っていきます。

手番

- 手番プレイヤーは必ず、以下の3つのうちひとつだけ行います。
 - ・カードを1枚引く
山札から1枚引き、他の誰にも中を見られないようにして、手札に入れます。これで手番終了です。
 - ・カードを1枚渡す
手札から1枚選び、ペアを組んでいるパートナーに、伏せて渡します。渡された側はこれを手札に入れます。
 - ・カードを1枚出す
手札から1枚選んで、自分の側の場か、あるいは敵方の場でも、中身が書かれた面を上にして置きます。

カードを渡すか出すかした場合、その手番ではカードの補充を行えません。カードを引くのはそれ自体でひとつの行動なので、他の行動とは組み合わせられないのです。通常は全員異なる枚数

の手札でゲームを行うという事になるでしょう。カードをパートナーに渡すのは強いメッセージになります。このゲームでは、これ以外の方法ではパートナー同士のコミュニケーションは行えません。

カードの使用

カードには4種類あり、それぞれ用途が異なります。ペアは共通の場(カードを出す場所)を使うので、カードを出す先は「自分の側の場」と「敵方の場」の二種類があることになります。どのカードを出すときも、中身が書かれた面が上になるように置いて、全員から見えるようにします。

鉱山を開く

金銀銅いずれかの鉱山カードを誰かの手元に出します。これにより、その鉱山が開かれます。

鉱山で働く

鉱物カードを、同種の鉱山カード(但し閉山していないもの)の上に重ねて置きます。たとえば銀山の上には銀の鉱物、という具合です。その鉱山から鉱物が産出されたことになります。鉱山カードの上には何枚でも鉱物カードを乗せられます。何枚の鉱物カードが載っているか全員が確認できるよう、鉱物カードはそれぞれ少しずつ重ねていってください。鉱山カードの上に最初に置かれたカードが「ダブル鉱物カード」だった場合、その鉱山

の上に置かれる全ての鉱物カードが「ダブル鉱物カード」であるものと見なされます(得点計算の項参照)。

閉山する

閉山カードを、まだ閉山していない鉱山(鉱物が乗っているものでも乗っていないものでも)の上に重ねて置きます。これにより、その鉱山は閉山したことになります。閉山カードは、自分たちの側でも敵の側でも、どちらの鉱山にも出せます。閉山された鉱山には、以降いかなるカードも置けなくなります。その鉱山に置かれたカードは全てひっくりかえし、得点計算に備えます。得点は閉山した鉱山からしか入りません(得点計算の項参照)。

鉱山を巡って戦う

無法者カードを、敵側の開いている鉱山(鉱物がひとつも乗っていないものでも構いません)からひとつ選んでそこに置きます。これにより、その鉱山をめぐる戦いが始まります。一度に戦いの対象にできる鉱山はひとつだけです。戦いが終わったら、改めて別の戦いを始めるのは構いません。他のプレイヤーは、一巡の間だけ、この戦いに参加する権利が与えられます。その戦いが始まって最初に巡ってくる自分の手番に限り、プレイヤーは無法者カードを出してその戦いに参戦できます。参戦せずに違う事を行っても構いません。全員が戦いに参加するなり別の行動を取るなりして一巡したら、攻撃側と防御側(出しているのなら)が出した無法者カードの数をそれぞれ合計し、大きい方の勝利となります。

引き分けは防御側の勝利として扱います。攻撃側が勝利した場合、この鉱山は上に乗った鉱物ごと、攻撃側の場に移動します。出された無法者カードは全て捨て札となり、このラウンド中は再登場しません。

戦いの最中に対象の鉱山が閉山した場合、戦いは直ちに終了します。この場合、鉱山の所有者は変わりませんが、その鉱山に対して最後に出された(つまり、一番上に乗っていた)鉱物1枚だけ、戦いで出された無法者カードと一緒に捨て札になります。残りの鉱物は通常通り、ラウンド終了時に得点となります。

閉山されたら、その鉱山は一山にまとめてペアのどちらかの手元に置き、得点計算のとときまでそのままにしておきます。

ラウンドの終了

山札から最後のカードが引かれたら、そこから全員、最後の手番を一巡だけ行います。最後のカードを引いたプレイヤーが、このラウンドの最後の手番を行うことになります。以上でラウンド終了となり、得点計算を行って、これを記録し、前のラウンドまでの得点と合わせます。勝利に必要な全ラウンドの合計は60点です。どちらも勝利ラインに届いていないのであれば、このラウンドの最初の手番を行ったプレイヤーが、次のラウンドの親となってカードを全て切り直し、手札を配ります。

得点計算

閉山した鉱山のみ得点の対象となります。ラウンド終了時点で

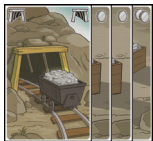
開いたままの鉱山には価値はありません。閉山した鉱山における鉱物の価値は以下の通りです。

- 金：1枚3点
- 銀：1枚2点
- 銅：1枚1点

ダブル鉱物は倍の価値になります。金なら6点です。但し、繰り返しになりますが、鉱山が開かれて最初に置かれた鉱物がダブル鉱物だった場合、その鉱山に置かれた鉱物は全てダブル鉱物であるものとみなされます。

得点計算の例

- 銀山
 - 銀：2点
 - 銀：2点
 - ダブル銀：4点
 - 閉山
 - 合計：8点
- 金山
 - ダブル金：6点
 - 金：6点 (ダブル金扱い)
 - 金：6点 (同上)
 - 閉山
 - 合計：18点



銅山

- 銅：1点
- ダブル銅：2点
- 銅：1点
- 閉山
- 合計：4点



2～4人用ルール

デザイナーとしては4人で行うペア戦がベストだと考えていますが、このゲームは個人戦として遊ぶ事もできます。ゲームは通常と同様にプレーしますが、ただプレイヤーは自分自身のためだけに戦い、自分のためだけの場を持ち、自分一人のための点数を獲得します。「カードを1枚渡す」行動はとれなくなります。鉱山を巡る戦いも個人戦となるので、最も高い値の無法者カードを出したプレイヤーが勝者となります。戦いの最中に対象の鉱山が閉山された場合、戦いはそこで直ちに終わるのは変わりません。

2人ゲームでは、ゲーム開始前に金銀銅の鉱山カードを4枚ずつ取り除くとよいでしょう。3人ゲームでは2枚ずつ取り除きます。個人戦では勝利に必要な合計点は40点です。



販売元
合同会社ニューゲームズオーダー
〒190-0023
東京都立川市柴崎町 2-17-1 TMビル 2F
http://www.newgamesorder.com/